風力発電に係る地方公共団体によるゾーニングマニュアル(概要)

平成30年3月 環境省

風力発電に係るゾ<u>ーニング</u>

▶ 「風力発電に係るゾーニング」とは

環境保全と風力発電の導入促進を両立するため、関係者間で協議しながら、環境保全、事業性、社会 的調整に係る情報の重ね合わせを行い総合的に評価した上で、以下の区域を設定し活用する取組

法令等により立地困難又は重大な環境影響が懸念される等により環境保全を優先することが考えられるエリア(保全エリア)

立地に当たって調整が必要なエリア (調整エリア)

環境・社会面からは風力発電の導入を促進しうるエリア(促進エリア) 等

経緯・目的

東日本大震災や固定価格買取制度導入等により、風力発電の導入が加速。風力発電は地球温暖化対策 推進の上で重要であるものの、騒音等の生活環境、バードストライク等の自然環境への影響や、住民 等の反対が顕在化

風力発電の導入促進と環境保全の両立した適地抽出が必要。環境省では、平成 28 年度から、地方公共団体の協力を得て、風力発電に係るゾーニング導入可能性検討モデル事業を実施本年3月、モデル事業の成果を踏まえ、「風力発電に係る地方公共団体によるゾーニングマニュア

___<u>ゾーニング</u>の実施

ル」を取りまとめ

ー > ゾーニングの実施主体 地方公共団体(都道府県、市町村)

▶ ゾーニングの実施計画 ゾーニング着手にあたっての基本的・全体的な計画を作成

情報収集等

環境保全に係る情報、社会的調整が必要な地域に係る情報、事業性に係る情報を収集

▶ ゾーニングマップ案の作成

収集した情報毎に地図を作成し、それらを重ね合わせ、エリア設定。促進エリア又は調整エリアから 風力発電の適地を抽出(さらに合意形成を図る中で適宜見直し)

> 合意形成の手法

関係者等を抽出し、協議会等の設置、個別調整、有識者等ヒアリング、パブコメ等を実施し、合意形 成を図る

▶ ゾーニング結果の取りまとめ・公表

ゾーニングマップ、エリア毎の課題、合意形成の経緯、ゾーニングマップの活用方針について取りまとめ、公表。定期的なフォローアップ等により見直しを実施

ゾーニングマップの活用

- ▶ 適地での事業化に対する支援
- ▶ 適地での事業者公募・選定
- → 一般海域の制度における活用
- ▶ 適地での地方公共団体による事業化
- → 環境影響評価における活用
- ▶ ガイドライン、要綱等による行政指導
- ▶ 条例による立地規制

2 ゾーニングの実施計画の作成 ゾーニングに着手するにあたり、基本的・全体的な計画を作成する。 【2.1 目的】

【2.2 上位計画・関連計画】

【2.3 ゾーニング対象範囲】

【2.4 ゾーニングマップの作成スケジュール】

【2.5 風力発電の導入見通し】

【2.6 ゾーニングマップ案の作成手順】

【2.7 ゾーニング対象範囲の概況と ゾーニングに用いる情報】

【2.8 関係者・関係機関の抽出】

【2.9 合意形成の進め方】

【2.10 ゾーニングマップの策定後の見直

し・公表】

【2.11 ゾーニングマップの活用】 3.1 ゾーニングに係る情報収集等 3.3 合意形成の手法 【3.1.1 既存情報の収集】 法令等 【3.3.1 関係者・関係機関の抽出】 環境アセスメントデー • 環境保全 ○実施体制の整備 • 国土保全 ○関係者・関係機関の抽出 事境 ○法令外の配慮 【3.3.2 意見調整方法の検討】 事項/その他 項配 導入目標との整合性確認 ○意見調整方法の検討 重要種の 慮 ○運営方法等についての協議 生息地等 ・渡り鳥の タベ 渡りルート 調 【3.3.3 協議会等】 ース ○構成メンパ-○風況 ○構造 (EADAS) 協議会等 ○インフラ等 に 事業 情等 道路、港湾 送電網 等 整 分科会、WG等 ○地形等 分科会、WG等 ○設置時期 ○社会性に ○協議内容 関する情報 【3.1.2 現地調査の実施】 【3.3.4 個別ヒアリング・調整】 ○個別ヒアリング・個別調整 レイヤーの 必要に応じ (住民団体、保護団体、先行利用者等) 重ね合わせ 調整・見直し 【3.3.5 有識者等ヒアリング】 【3.2.1 エリアの種類】 ○有識者等ヒアリング 【3.2.2 レイヤーの作成 ・エリアの設定方法】 【3.3.6 その他の手法】 【3.2.8 レイヤーの重ね合わせ等】 ○説明会 適 【3.2.9 導入見通しに応じたゾーニングの見直し】 宜見直し ○アンケート ○パブリックコメント 32 ゾーニングマップ案の作成 (レイヤーの重ね合わせ)

3.4 ゾーニング結果の取りまとめ・公表

【3.4.1 ゾーニングマップの取りまとめ】【3.4.2 公表】 【3.4.3 ゾーニングマップ策定後の見直しについて】

4 ゾーニングマップの活用